

安心して暮らせる住まいを建てるために 建築主の皆さんへ

▶ 工事監理者を定めましょう

施工不良等が原因で生じる欠陥住宅に関するトラブルを未然に防止するためには、住宅の工事全体について建築士の資格を持つ専門家がきちんとチェックをすることが重要となります。

住まいづくりでは、建築士の資格を持つ「工事監理者」を選任することが法律で定められています。工事監理者は、建築主の代理人として設計図書どおりに工事が行われているかを確認する、重要な役割を担っています。建築主は必ず工事監理者を決めてください。

施工不良等が原因で生じる欠陥住宅に関するトラブルを未然に防止し、より安全で快適に暮らすために、建築主の皆さんは次のルールを知っておきましょう。

▶ 完了検査を受けましょう

工事が完了したとき、建築主は完了検査の申請をすることが法律で定められています。完了検査とは、建築確認申請に基づき正しく工事が完了し、安全な建物であるかどうかを確認する、大事な検査です。検査員が建物を検査し、建築基準法に適合していれば「検査済証」を交付します。必ず検査を受けてください。

★建築開発課 ☎25-1 1 4 0、熊谷建築安全センター
(熊谷県土整備事務所内) ☎048-533-8776

狭あい道路の拡幅整備を進めています

狭あい道路は、私たちが日常生活をしていくうえで、通行上、環境衛生上の問題があるばかりでなく、地震や火災などの災害時には消防、救急活動に支障をきたします。市では「本庄市道路後退用地整備要綱」を制定し、市民の皆さんのご協力のもと、狭あい道路の拡幅整備を進めています。

▶ 狭あい道路沿道の皆さんへ

建物や塀の新築・建替え等の際は、次の①②いずれかの手続きを必ず行ってください。手続きをいただくと、市が道路後退部分の整備と維持管理を行います(後退済みで手続きを行っていない場合はご相談ください)。

①道路後退部分を分筆登記して、市に寄附する

→ 一定要件を満たすと、分筆登記費用に対して補助金(上限15万円)を交付します。

★道路管理課 ☎25-1 1 3 5

②道路後退部分を公共用道路として無償使用することの承諾書を提出する

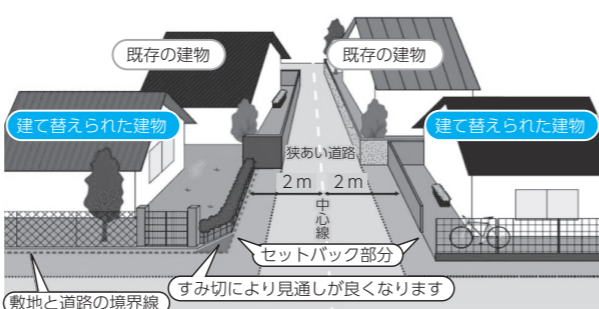
→ 道路後退部分の固定資産税・都市計画税が非課税となります。なお、手続きには、後退部分の測量図が必要です。

★建築開発課 ☎25-1 1 4 0

※本庄市立地適正化計画に定める居住誘導区域で、道路後退用地内の古い建物等の除去等に対する補助制度(上限50万円)があります。詳しくは、道路管理課へお問い合わせください。

狭あい道路とは…

幅員4m未満で一般交通の用に供されている道路。その中でも、建築基準法の基準時以前から建築物が立ち並んでいる幅員4m未満の道で、特定行政庁が指定したものを建築基準法第42条第2項道路と呼び、建物等の新築・建替え等の際には道路の中心線から2mの後退(セットバック)が必要となります。



狭あい道路のセットバックイメージ

▶ すでに道路後退が済んでいる皆さんへ

過去に道路後退した部分に塀等を再度設置したり、通行の障害となる物を置いたりすると、災害時の避難経路の確保や消防・救急の活動に支障をきたすこととなります。道路後退部分には通行の障害となる物を置かないでください。狭あい道路の幅員を4mにすることは、災害に強く住みよいまちづくりのために大変重要なルールです。ご協力をお願いします。

企画展

中山道本庄宿 一街道に生きる人々

開催期間 10月20日(金)～12月24日(日)

会場 本庄レンガ倉庫1階展示スペース

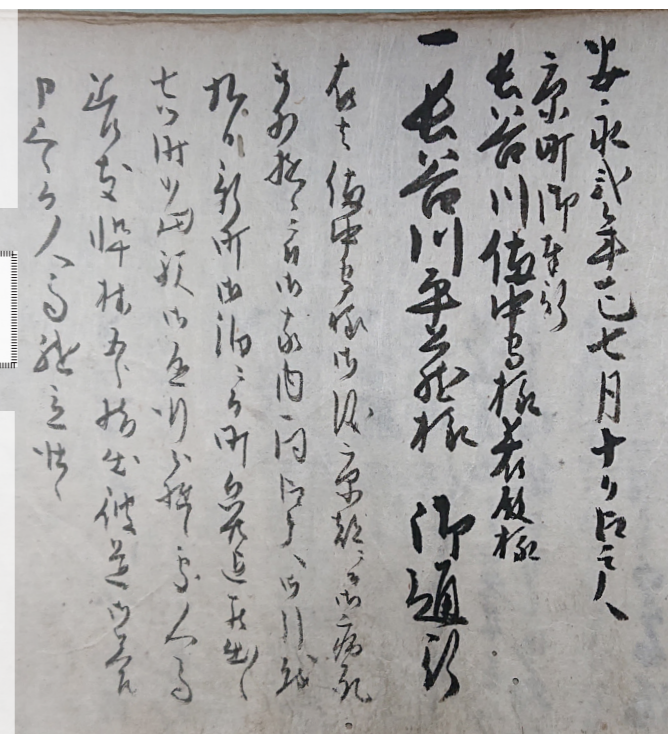
中山道本庄宿は、多くの大名や庶民の往来があり、江戸時代後期にはその規模は中山道最大の宿場として繁栄しました。

今回の企画展では、市所蔵の資料等から当時の宿場の様子や大名を迎えた本陣、また、そこに生きる人びとについて紹介します。

【展示資料紹介】田村本陣休泊控帳

寛永19年(1642年)から文久3年(1863年)までのおよそ220年間にわたる田村本陣を利用した大名等の記録。参勤交代等の通行の実態を記録した、交通史上重要な史料。

※右上の写真は、時代小説等で「鬼平」として知られる長谷川平蔵が、安永2年(1773年)に本庄宿を通行した際の記録。



ワークショップ

和綴じ本風メモ帳をつくろう

日程 11月3日(祝)・4日(土)・5日(日)

会場 本庄早稲田の杜ミュージアムロビー

※企画展とは会場が異なります。

対象 どなたでも 費用 無料 申込 不要

ミニ企画展関連講演会

①埼玉県における埴輪の受容と展開

日程 11月11日(土)

講師 大谷 徹 氏(立正大学文学部講師)

②群馬県における埴輪の受容と展開

日程 11月25日(土)

講師 加部 二生 氏(桐生市史編集委員会 原始古代部会長)

《①②共通》

時間 午後1時30分～4時(質疑応答含む)

会場 早稲田リサーチパーク・コミュニケーションセンター3階レクチャールーム1

定員 各100名(先着順) 費用 無料

申込 10月18日(水)午前9時から電話、または直接本庄早稲田の杜ミュージアムへ



ミニ
企画展

旭・小島古墳群 本庄市の古墳2

開催期間 10月7日(土)～12月24日(日)

会場 本庄早稲田の杜ミュージアム
交流ひろば



本庄早稲田の杜ミュージアム
HONTO-WASEDA NO MORI MUSEUM

開館時間 午前9時～午後4時30分

休館日 月曜日(休日の場合は翌日)

☎71-6878・FAX71-6879・✉hwmm@city.honjo.lg.jp

